



KYOTO SEIKA

2019年 新年にあたり

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。皆様方には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、厳しい冬の到来で始まり、各地で発生した集中豪雨、梅雨明け後の猛暑、高温、そして度重なる台風上陸による生産被害が多数発生しました。

また、北海道胆振東部地震や、台風 21 号による関西国際空港の長期閉鎖、高速道路の閉鎖等、物流面でも混乱が発生しました。そのため、卸売市場、生産者とも出荷量が把握し難い状況となり、買受人の皆様にとって、計画的仕入れが難しい一年となってしまいました事を深くお詫び申し上げます。

しかしながら、今年は日本にとっても「始まり」の年です。「平成」に終わりを告げ新しい元号が5月から始まり、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、2025年には大阪万博の開催も決定しております。業界として大きな期待を寄せているところです。

そのためにも、生産と販売を結びつける重要な責任を担っていることを常に意識し、卸売市場としての機能発揮のため社員一同邁進して参りますので、本年もご指導、ご鞭撻を賜るとともに、変わらぬご愛顧のほど、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、花に関わるすべての皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

京都生花株式会社

代表取締役社長

近藤和博